



子ども達の 可能性の扉を開く 本物にふれる 感動体験を

連載 ゆめ・まち・みらい
インタビュー

桂 米團治さん
(落語家)



阪急阪神ホールディングスグループ

おすすめ
記事

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」助成対象団体
「NPO法人チャイルズ」ご紹介(3~5ページ)

おすすめ
イベント

ゆめまち古本チャリティ
(回収期間:11月8日(月)~24日(水))

社会貢献用語辞典
未来をつくる
コトバ
vol.07

子どもの権利条約

世界中には、戦争や紛争に巻き込まれたり、教育を受けられなかったり、仕事をしなければいけなかったりと、厳しい暮らしをしている子ども達が多くいます。「子どもの権利条約」はそんな子ども達をはじめ、世界中の子ども達を守るため、生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利について定められた条約です。1989年に国連で採択され、1990年に国際条約として発効。日本は1994年に批准しました。2006年には、193の国と地域が条約を締結。ユニセフ(国際連合児童基金)がこの条約を普及させる活動を展開しています。



What'sフェアトレード?

途上国の生産者が貧困から抜け出せるよう、公正な価格で取引した商品がフェアトレード商品です。途上国の自立や環境保全につながる国際協力のひとつです。

ゆめ・まち・みらい ショッピング

六甲ガーデンテラス「ホルティ」より
おすすめのフェアトレード商品をご紹介します



心を込めて織った布を、最後まで大切に使った愛らしいアイピロー

服の「はぎれ」から生まれた、タマとポチのアイピロー。ネパールでもっとも古いNGOのひとつ、「マハグティ」でつくられています。ここでは、女性達の経済状態を上げようと、1927年より機織りや糸紡ぎ、縫製などの指導が行われています。そして、服をつくる過程でどうしても出てしまう「はぎれ」を何とか活かそうと、愛らしい表情のタマとポチが生まれました。一つひとつ表情が違うアイピローは、心を和ませてくれます。中に入っているのは、亜麻の種。目や肩の上ののせると、ちょうど良い重みで疲れがとれて、心も身体もリラックス。仕事にちょっと疲れたら、目の上のにせてリラックスしてみてもいい?

※「はぎれ」でつくっているため、写真と実物の色が異なる場合がございます。ご了承下さい。



画像協力:ネバリ・バザール

「ホルティ」 HP <http://horti.rokkosan.com/> メール horti@rokkosan.com
専用注文書でFAXまたはメールから、もしくはお電話でご注文下さい(お申込電話・FAX ☎0120-894-886)

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

阪急阪神 ゆめ・まち 検索

阪急阪神ホールディングス株式会社 人事総務部社会貢献担当
shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174
ホームページ <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは...

2009年よりスタートした、阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献プロジェクト。「未来にわたり住みたいまちづくり」を方針に、「地域環境づくり」と「次世代の育成」の分野で、グループ会社や従業員など、さまざまな連携を通じて活動を進めています。



こども達の可能性の扉を開く 本物にふれる感動体験を

6月に開催された阪急電鉄主催の「ゆめ・まち親子チャリティコンサート」で司会を務めた桂米團治さん。コンサートのこぼれ話から、ご自身の子育て観、次世代に伝えたい思いへと話題は広がり、終始、笑いに包まれたインタビューとなりました。



落語家の延長にクラシックの仕事も

もともとクラシック音楽が好きで、「私はモーツァルトの生まれ変わり」なんて言ってるものだから、クラシック関係のお仕事をさせていただく機会も多いんです。「ゆめ・まち親子チャリティコンサート」では、司会進行とお話ということで、落語家と同じレベルの上にあるお仕事かなと思いきや、気負わず、力まず、私なりに楽しくやらせていただきました。

クラシックだからって堅苦しく考え

ずに、落語と同じように気楽に聴いて楽しんでもらえたらいいと思うんです。落語家が司会をすることで、クラシックをより身近に感じていただけたら嬉しいですね。

当日、会場は小さいお子さんから70歳代まで幅広い年代のお客さままで大盛り上がりでした。「指揮者体験コーナー」では、大勢のお子さんが元気良く手を挙げて立候補してくれて、みんなに体験させてあげたかったです。そうもいかず…。体験できなかった子ども達には「将来、指揮者になりなさい」と言いたいです。そうすれば、嫌と

いっほどタクトを振れます(笑)。

落語家ならではの「ピーターと狼」

コンサートの演目のひとつに、オーケストラ演奏と私の語りでつづる交響的物語「ピーターと狼」がありました。普通のナレーションで語るなら場面を説明するト書きが中心になりますが、落語家があると、登場人物の会話を中心にしてストーリーを展開できます。私が演じる掛け合いから、観客はその情景を思い浮かべることができるよう。それは、落語の手法と同じなんです。

落語家

Katsura Yonedanji

桂 米團治さん

Profile

1958年、大阪市生まれ。大学在学中に、父である桂米朝に入門(芸名:小米朝)。2008年、五代目桂米團治を襲名。上方文化の華やきを大切に、古典落語を追求しつつ、映画、舞台など幅広く活躍。クラシック音楽に造詣が深く、上方落語とオペラを合体させた「おべらくご」を確立した。



梅田芸術劇場で行われたコンサート。大阪フィルハーモニー交響楽団の迫力ある演奏と、米團治さんの軽妙な話術で、舞台と客席がひとつになった。

実は、私の師匠であり父である桂米朝も若い頃に「ピーターと狼」の語りをやっていたんです。その時の録音テープが残っており、偶然知りましてね。おかげで、くすぐりやギャグのヒントをたくさんもらいました。米朝は今こそ落語界の重鎮で、人間国宝。でも若い頃はいろんなことをやってきたんですよ。オーケストラとのコラボもそうですし、ラジオのDJを今のようなスタイルでやったのも米朝が初めてだと思えます。そういう感性はやはり大したもんですね。

子育てで大事なものは親が本気の姿を見せること

そんな父親の姿を見てきたせいかわかりませんが、私も映画や芝居、クラシック、落語とオペラを合体させた「おべらくご」など、いろんな分野に挑戦しています。うちの子どもにすれば、「お父さん、珍しいことしてるわ」と。たぶん、何かしらの発見はあるでしょうね。だからといって、父親としてあがめられたりはしてませんよ(笑)。家ではなぜか謝ってばかりの「小さいお父さん」です。

結局、自分のことには、自分のありのままの姿をさらけ出しています。子育ては、言葉でえらそうなことを言うより、本気でがんばってる親の姿を見せるほうが大事だと思っただけ。あとは、こどもが何か悩んだり、つまずいたりした時に、しっかり受け止めてアドバイスをしてやれたらいい。時には本音で話すことも大切です。無理して話題をこどもに合わせる必要はありません。例えば、昔は誰もが知っていた常識や習わし、風物詩などを教えるだけで会話は広がりますよ。古いものを知ってこそ、新しいものが

見えてくる。温故知新ですね。落語もそう。古典落語が時代を超えておもしろいのは、そこに普遍的な笑いがあからず。落語に限らず、古きに学び、未来を見通す姿勢を伝えていけたらと思います。

伝統文化の間口を広げるとともに、奥深さを知って欲しい

関西には、上方落語以外にも、他に類を見ないすばらしい文化がたくさんあります。阪急阪神さんには宝塚歌劇という、関西を代表する文化があります。上方の文化をばぐくむ土壌は、これからも大切にしたいですね。

次の世代へ文化を伝える意味で、クラシックコンサートや落語なども、間口を広げて、こども達が興味を持つきっかけをつくるといい。こども達には、最初に「これはおもしろい」と思ったら、自分で少しずつ奥へ進んで、奥義(おうぎ)にふれていってもらいたいですね。何事にも奥深さがあるということが上方文化の誇りです。私も上方落語の奥義をご披露できるように自分を磨き続けたい。(手にした扇子を広げながら)こつして扇(おうぎ)を持つてるだけではあきませんので(笑)。

英語落語などにもチャレンジしつつ、古典落語に磨きをかける

クラシックコンサートの司会やラジオのDJなど、さまざまなジャンルで活躍しておられる桂米團治さんですが、今年6月には、イギリスのエディンバラで英語落語も上演。もちろん「普通の古典落語を、普通の寄席で、普通にやるのが本分」と、古典落語への思いも真摯に語って下さいました。

『桂米團治独演会』

10月20日(水)／京都府立文化芸術会館 10月28日(木)・29日(金)／大丸心齋橋劇場
お問合せ：米朝事務所 06-6365-8281(平日10:00~18:00)

ホームページはこちら

米朝事務所 <http://www.beicho.co.jp/> 桂米團治さんのブログ <http://www.yonedanji.jp/>

今後の活動

「発達障がい」って何？

みんなの理解が

安心な子育てへの第一歩

今回ご紹介するのは、発達障がいのことも達と保護者を支援する「NPO法人チャイルズ」です。代表の是澤さんにお話を伺うとともに、実際の活動を見学。参加されていた保護者の方にも感想をお聞きしました。

お約束を守る大切さを遊びのなかで学びます



自然の中は気持ちいいー



毎夏、ボランティアの学生さんといっしょにキャンプに行きます！

MEMO

発達障がいとは？

自閉症 言葉の発達の遅れや、コミュニケーション・対人関係などに障がいが見られます。予定や環境が変化すると、不安になってパニックを起こす場合もあります。	アスペルガー症候群 パターン化した行動、かたよった関心やこだわりがあります。自分のことばかり話してしまう傾向にあり、自分勝手やわがままなだと判断されがちです。
---	---

注意欠陥多動性障がい/ADHD ひとつのことに集中できず、じっとしていません。よく忘れ物をしたり、衝動的に行動したりといった傾向が見られます。	学習障がい/LD 「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」など、ひとつあるいは複数のことが苦手です。知的発達の遅れは見られません。
---	---

ここでご紹介するのは、発達障がい者支援法の支援対象の一例です。また状態やレベルは人それぞれであり、この内容が全てではありません。

発達障がい者支援法

上記、4つの代表的な障がいを支援の対象とする法律で、2005年4月に施行されました。これにより、身体障がいや知的障がいなどと比べて行政による支援が遅れていた当分野でも、乳児から高齢者まで、それぞれの年齢に応じた適切な支援が受けられる体制整備が進められるようになりました。

自らの子育ての苦勞が 設立のきっかけに

「発達障がいとは発達のかたよりです。自閉症や学習障がいなど、外見だけではわからないことが多く、周囲から理解されにくいですね。学校でも、忘れていたり、友達と仲良くできないと思われて、問題児扱いされるケースが多いです」と語るのは、チャイルズ代表で自閉症のお子さまをお持ちの是澤さんです。

是澤さんは3人の男の子に恵まれましたが、次男は「夜も眠らずに叫ぶ、抱っこされるのを嫌がって泣く、言葉が遅い」など、子育てに不安を感じていたところ、2歳の時に自閉症と診断されました。正しい情報が得られないまま、幼い子ども達を連れて行政機関や福祉施設、病院へと、日中は療育相談に駆け

回るだけで精一杯。夜は家事はもちろん、次男を寝かしつけるために真夜中にドライブすることもしばしば。それでも周囲からは育て方が悪いと言われ、母親としての自信を失ってしまいました。体力的にも精神的にも追い詰められた是澤さんでしたが、次男が3歳になった頃、「このままではいけない！」と障がいを受容することを決意。各地の研究や講演会で学んで帰っては、同じような境遇の保護者に情報を提供するようになりまし。そして2003年1月に、15名が集まって本格的な勉強会をスタート。次第に活動の幅が広がり、2007年10月にNPO法人チャイルズ設立へと至ったのです。

ゲームが終わったら2人でおたづね。



楽しいゲームに2人とも大興奮。良くできた相手には、約束通りほめてあげました。

用具を2人で準備したら、じゃんけんで順番を決めてゲーム開始です。今日はストラックアウト、すごろく、ババ抜きで遊びます。



スケジュールを先生と一緒にチェック。お互いを名前呼び合う、上手にできた相手をほめるなど、ルールを決め、守ることを約束します。

トレーニングスタート！

子育てサロンでの活動例として、ソーシャルスキルトレーニング「チャイルズくらぶ」を見学させていただきました。これは、他人とスムーズにコミュニケーションがとれない、自閉症の子ども達のための教室。参加者は小学校低学年の男の子2人です。

今日は、2人で仲良くゲームを楽しみます。ボランティアの先生は、一人ひとりにスケジュールを用意していました。



スケジュールを先生と一緒にチェック。お互いを名前呼び合う、上手にできた相手をほめるなど、ルールを決め、守ることを約束します。

障がい児を持つ親だから 役立つことがある

障がい児を持つ保護者の気持ちが一番良く理解しているのは、同じ立場の保護者です。是澤さん達は子育ての経験を活かし、数多くの保護者の相談にのってきました。「保護者が孤立しやすいのは保育所に入るまで。この時期に挫折してしまうと、虐待や自虐につながりかねません。また何の対処もせずにいると、就学後に引きこもり、登校拒否、非行など、問題が起きる可能性があります。それを防ぐにはまず、保護者が子どもの障がいを受容することが大事。私達は、兄弟児を含めた家族の生活改善と、子ども達の将来の経済的自立をめざしているんです。そのために必要な情報を提供し、具体的な支援方法を模索して実践。2009年1月には、活動拠点を兼ねた子育てサロンを大



親子で相談室へ。先生と一緒に今日の活動を振り返ります。



トレーニング終了。お疲れさまでした！
ソーシャルスキルトレーニングは、社会のルールを知り、お友達とうまくコミュニケーションをとるための練習です。「こういう機会をつくってもらえて嬉しい」「ママ友に相談しても解決しないけど、チャイルズでは具体的にアドバイスしてもらえる」と、お母さん達。子ども達も「チャイルズ」に来るのを楽しみにしているそうです。

チャイルズ代表 是澤 ゆかりさん

保護者を守るのも私達の大切な目的のひとつ。子育てを一人で抱え込まずにご相談下さい。

- チャイルズ活動例
- 余暇支援事業
【発達障がい児・家族の暮らしに楽しみを提供する活動】
親子の調理活動
アロマ・ストレッチ講座
ボランティアなどのいるかキャンプ
発達障がい児のパソコン教室
 - 啓発事業
【発達障がいについての勉強会・講演会】
分科研修会(性別、年齢、障がいの種別や兄弟の有無などについて、具体的に学ぶ会)
絵カードを使用したコミュニケーション
ワークショップ(PECS)
保護者パソコン教室
 - ピアカウンセリング事業
【面談・メールなどによる育児不安への相談支援】
 - 他の地域の「親の会」との連携・活動支援
 - 行政・企業・団体などへの講師派遣事業
 - 支援物の制作・販売による支援グッズの普及

ごどもの特性に応じた多彩な支援活動

2010年7月現在の会員は、資金面で協力してくれる賛助会員を合わせて約100名。「チャイルズ」の活動を知り、相談に訪れる人はますます増えています。是澤さんが受け取る相談メールだけでも、1日に20件ほど。なかには緊急を要する内容もあり、メールチェックは欠かせません。「緊急性の高いメールの場合は、一両日中に返信します。文面にはすぐく気を遣いますが、やめてしまったら、とまどう人がいる。がんばるしかないですよね」。

障がいの種類やレベル、保護者の考え方やタイプはそれぞれなので、一人ひとり支援のニーズは異なります。

子育てサロンはチャイルズ会員が協力し合ってつくりました



災害や事故などに備えた、障がい児と家族のための「防災マニュアル」「安心手帳」

障がい児に理解を求めるオリジナルワッペン。こどもの胸につけます。

発達検査やカウンセリングに利用する相談室

いろいろなおもちゃが用意されたプレイエリア

ロフトは、集団行動が苦手な子のシェルター

めざしているのは生きやすい環境づくり

「今すぐ何が必要か」を見極めて具体的にアドバイスできるよう、「チャイルズ」は行政、医療、福祉、教育の各機関とも密に連携しています。代表である是澤さんは、保護者を集めての教室や研修以外にも、教員、保育士、ヘルパー、民生委員などの研修や講演会に、講師として招かれることが増えました。それは、いろんな方面に発達障がいを理解してもらってだけでなく、その際の講師料を「チャイルズ」の活動資金の足しにするため。「私達スタッフや講師はボランティア。子育てサロンも会費と参加費のみで運営しています。阪急阪神 未来のゆめ・まち基金に応募したのは、子育てサロンの経費をまかなうためでもあるんです」と是澤さんは語ります。

現在、是澤さんのお子さまは、重度の自閉症でありながらも、中学校で一般のことも達と一緒で学んでいます。「地域のことも達と存在を知ってもらうことに、生きる意味があるんです。治らないなら、環境を変えていくしかない。持てる能力で生きやすくしてあげたい」。阪急阪神ホールディングスグループに望むのも、交通機関など、まちで働く人に障がいのサポーターになってもいい、外出しやすい環境をつくることだと思います。「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金の助成をいただくことを通して、グループの従業員の方々に発達障がいについて知っていただければ嬉しいですね」と笑顔で語ってくださいました。

「チャイルズ」に興味を持たれた方へ

「チャイルズ」では、運営に参加・協力していただける方を募集しています。希望の方は、会費を添えてお申し込み下さい。また各事業に参加、あるいはサービスを利用される場合は、参加費をお支払いいただきます。また資金面でご協力いただける賛助会員も募集中。会費などについては、下記までお問合せ下さい。

発達障がい児&ファミリーケアステーション 特定非営利活動法人チャイルズ
 (事務所・子育てサロン)
 〒552-0003
 大阪市港区磯路2-12-1-118号
 TEL/FAX 06-4977-5131
 ホームページ <http://childs.jp.org/>

阪急阪神ホールディングスグループ

社会貢献報告

Series 02



みんなで映画を楽しもう 「障がい児(知的障がいなど)向け映画上映会」

[オーエス株式会社]

「映画を通じて、誰もが感動を分かち合える社会の実現をめざします」

お話を伺った方...
 オーエス 人事総務部 中村さん
 OSシネブラザーズ 伊川さん

今回は、ふだん映画館に行く機会の少ない障がい児達のための上映会について、担当のお二人にお話を伺いました。運営を通じて何を感じられたのでしょうか。



客席の様子。ゆったりと座っていただいています。

映画館では珍しい明るいロビーでは、上映会にあわせてコンサートが開催されることも。子ども達も大盛り上がりだそうです。



■2009年度から、障がい児向けの映画上映会を定期的に開催されているそうですが、そもそもきっかけは何ですか？

中村 「未来のゆめ・まちプロジェクト」がスタートする際の呼びかけに、当社でできる社会貢献は何だろうかと考え、この企画が生まれました。ちょうど、「知的障がい児向け上映会をさせて欲しい」とのご要望にお応えし、好評をいただいたところだったんです。映画興行は創業事業というところもあり、これまで当社をはぐくんでくださった神戸にお返しをしたいと考え、OSシネマズミント神戸で当社主催の上映会を開催し、社団法人 神戸市手をつなぐ育成会を通じてお子さんをお招きすることにしました。

■上映会の運営面ではどんな点に気をつけられたのですか？

伊川 知的障がいのお子さんのなかには、大きな音や暗い場所に敏感な方もおられます。「騒いで周りに迷惑をかけるかも知れない」と親御さんが心配され、映画館に行きたくても行けないケースが多いです。そこで上映会当日は真っ暗にせず、照明を50%程度に、音量も通常の70%程度にして上映しました。客席入り口の暗いトンネル部分が怖く入れないお子さんもいらしたので、非常口から直接客席にご案内しました。そのお子さんも、今では毎回楽しそうに上映会に来てくださいますよ。

■いろいろな工夫や苦労があるんですね。

伊川 その他 動線にも工夫していますが、苦労ではないですね。最初はどこに気を遣ったらいのか分からず、かなり構えてお迎えしてしましました。しかし親御さんはおおらかな方が多く、育成会の代表の方からも「気楽にやって下さい」とおっしゃっていただいたので、肩の力が抜けました。何より、子ども達が目を輝かせて映画を観て、「ありがとう！」と元気に声をかけてくれるんです。垣根をつくっていたのは、自分達の方だったな、と。今では、お子さんもスタッフも和気あいあいとした雰囲気、良い意味で活動がなじんできましたし、従業員にとっても仕事のモチベーションアップになっています。

中村 ミント神戸は駅前にあるので、電車で来場される方が多く、それがお子さん達の社会勉強になることも聞いています。初めて映画を観たお子さんもうっしょって、本当に上映会をやったよかったですと感じています。映画館というのは、もともと思い出と結びつきやすい場所ですが、これからは人の記憶に残る映画館になっていきたいですね。

13



阪急電鉄 谷口進さん

ワークショップで魅力を再発見！ 六甲山のすばらしさを多くの人に。

今年6月に、未来のゆめ・まちプロジェクト主催の「六甲山みつろうワークショップ」に参加させていただきました。実際にキャンドルをつくるのも楽しかったのですが、キャンドルづくりの前に登場された、六甲みつばち王国の小室さんのお話に引き込まれました。六甲山に養蜂場があるのも意外だったし、ミツバチの生態はちみつづくりのプロセス、はちみつと健康との関係など、興味深い内容ばかりでした。そもそもワークショップに参加したのは、「六甲山」というフレーズに惹かれたからです。私は約15年前から、阪急コミュニティシヨンス発行の『阪急ハイキング』の編集に携わっていて、六甲山のあらゆるハイキングコースを何度も歩いてるんです。だから六甲山のことは、誰より熟知しているつもりでした。ところが今回初めて養蜂家の存在を知り、六甲山の奥深さに驚きました。目からウロコとは、このことですね。

六甲山のすばらしさは、都市のすぐ近くに大自然があること。雄大な景色を眼下に望めるのも魅力です。私はもともとマラソンランナーなので、足腰を鍛えるために山歩き(トレイルランニング)を始めたのですが、今ではマラソンより山歩き。週末になると、六甲山を走り回っています。私の望みは、自分だけが六甲山を楽しめるのではなく、自然にふれあう楽しさを一人でも多くの人に知って欲しいということ。今年、阪急電鉄、阪神電気鉄道、神戸新聞社の3社で初めて開催した「神戸・六甲山ツデー

ウオーク」も、そんな思いから企画したイベントです。2日間の参加者は3000名以上。皆さんの参加費の一部は、その同額を上乗せした上で、六甲山上緑化のための基金に寄付しました。あじさいをいっぱい植えて、さらに自然豊かな六甲山にしたい。ワークショップは、そんな思いをいっそう強くする良い機会になりました。



六甲みつばち王国の小室さんのお話には、新しい発見がいっぱいでした。

溶かしたみつろうを小さなコップに注ぎ、芯を入れれば、みつろうキャンドルの完成です。

神戸・六甲山ツデーウオークに興味を持たれた方へ

「神戸・六甲山ツデーウオーク」は、地球環境について考えるアースデーにあわせて開催されます。第2回は、2011年4月23日(土)・24日(日)の2日間で各3コース(予定)。一人ひとりのレベルやコンディション、ペースに応じて六甲山を歩きます。ぜひご参加下さい。

2010年12月中旬より募集開始!

問合せ先 神戸ウオーキング協会
TEL&FAX 078-251-0114

14



阪神不動産 能阿弥照夫さん

少年ラグビーを通じて人間形成。 子ども達と一緒にボランティアも。

12年前のこと。当時小学4年生だった長男が、地元「生駒少年ラグビークラブ」に入部。私は高校生の頃からラグビーをやっていたこともあり、コーチのお誘いをいただいたんです。よく「子どもにラグビーは危険じゃないのか」と聞かれますが、小学生の場合は学年別のミニラグビーか、タックルの代わりに腰に付けた紐を取るタグラグビー。安全を最優先したルールがあり、大きなケガはまずないですね。現在所属しているのは、幼児から中学生までの約100名、コーチは約60名。結成35年の伝統あるチームで、学年別の公式戦で何度も優勝しています。出身者のなかには、トップリーグで活躍するプロや、花園で行われる全国高校ラグビー大会に出場したメンバーもいますよ。

私は「ラグビーは人間形成に役立つ」と思っています。その大きな理由が「フーサイドの精神」。対戦相手は自分を高めてくれる存在であり、戦った後は相手に感謝し、健闘をたたえ合います。また得点は一人の力でなく、メンバー全員のカリという「ワンフーオール、オールフーワン」の考え方も、仲間との連帯感や協調性をはぐくみます。ラグビーはそれぞれの能力や適性に合ったポジションで楽しめるので、他のスポーツから転向してきた子も多いですね。子ども達に触発されて私ももう一度プレイしたいと、7年前にオーバー40の30名が集まって「生駒クラブ」を結成。残念ながら、私自身は3年前に足を複雑骨折して、現在はコーチとレフリーに専念していますが、いつかは復帰したいですね。

子ども達の練習は毎週日曜日の午前中。空いている時間を活用して、グラウンドの草刈や清掃など、スクールボランティアを始めました。また地域活動にも、クラブの子ども達とともにボランティアとして参加するように。全員ユニフォームを着て参加すれば、クラブのPRにもなりますからね。人の役に立つのは気持ちがいいし、「ありがとう」と言ってもらえるのが嬉しい。子ども達にとっても、

ラグビーとボランティアの両面から人間形成できるのではと思います。将来的には、「コミュニティーに根ざした総合地域型スポーツクラブ『ふれあい』をNPO法人として設立するのが目標。2019年ラグビーワールドカップの日本開催、2016年オリンピックでの7人制ラグビーの正式種目採用に向けて、日本でのラグビー人気復活の役割を担いたいですね。



2010年のこどもの日に開催された、「第17回335-B 11Rライオンズクラブカップ」にて。メンバー全員、体は小さくても、ファイトのある良いプレイをしていました。

体を動かすのに最適の季節。何か社会に役立つことをしませんか。
食欲と読書の秋ならではのイベントにもご参加を!

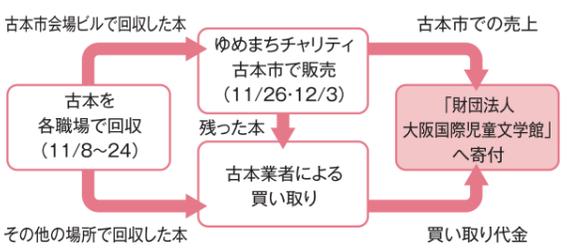
主 催 イベント②

ご自宅に眠っている本はありませんか?
読書の秋、本を使った社会貢献に参加しませんか?
「ゆめまち古本チャリティ」開催!

古本を回収し、売った代金を子ども達のために寄付する古本チャリティイベントを開催します。ご自宅にある、読まなくなった本をご提供下さい。2会場で実施する古本市で商品をお買い上げいただくのも大歓迎! 古本市の売上と、集まった本の買い取り代金は全て、図書館、福祉施設などで子ども達へ本の普及活動を行う「財団法人 大阪国際児童文学館」に寄付いたします。ぜひご協力下さい!

- 回収期間: 11月8日(月)~24日(水)
回収場所: 阪急電鉄本社ビル2F食堂、
阪神電気鉄道本社ビル10F食堂など
※その他の回収場所は、下記事務局にお問合せ下さい。
- 古本市概要: ①11月26日(金)
11:30~13:30 / 17:30~19:00
阪急電鉄本社ビル 1Fエコルテホール
②12月3日(金)
11:30~13:30 / 17:30~19:00
阪神電気鉄道本社ビル 10Fホール

ゆめまち古本チャリティの流れ



主 催 イベント①

社員食堂で食べよう! 近畿2府4県!
「関西を食べよう! 地産地消フェア」を開催します!

近畿2府4県の食材を使ったメニューを食べて、「食」について考えてみませんか? 「食」から見えるいろいろな問題を気軽に知るチャンスです。食に関するチェックシートや食堂に設置するアンケートにもぜひご協力お願いいたします!



- 期間: 10月1日(金)~29日(金)
場所: 阪急電鉄本社ビル2F食堂
宝塚創遊食堂
阪神電気鉄道本社ビル10F食堂

社会貢献ポイントも付与!

食卓エコ化チェックシートを提出していただいた方には、社会貢献ポイント5ポイントを付与いたします。申請方法は以下の通りです。(食堂でメニューを食べていなくても申請できます)
●書面での申請方法: 本誌挟み込みのチェックシートに回答し、事務局まで郵送またはFAXでお送り下さい。WEBからもダウンロードできます。
※ホームページアドレスは下記参照
阪急阪神 ゆめまち で検索 → 従業員向けページ → 食卓エコ化チェックシート

ポイント制度のご案内

個人で貯めたポイントの使い道は?
社会貢献ポイント交換実績報告

7月末で締め切らせていただいた社会貢献ポイント交換について、皆さんの交換申請の実績をご報告いたします。なお、今回申請されていない場合も、引き続き積み立てられます。

- 市民団体への寄付 374ポイント
六甲山に植樹する苗木 474ポイント (苗木4本分)
フェアトレード商品の交換 780ポイント

今回は、制度開始から1年で、ポイント数もまだ少ない状態のご案内となりました。来年のご案内時には、さらに多くの方々にご利用いただけるよう、ポイント対象となるイベントもいろいろ実施してまいりますので、ぜひご参加下さい。



オフィスも癒しの空間に 手編みコースター (15ポイント)
意外な人気! お守りパレワストーン (25ポイント)

基金のご案内

今月は給与天引での参加受付中です!
「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 助成報告会」

40名の方に集まっていた7月20日の基金助成報告会。助成先4団体によるプレゼンテーションで、阪急阪神沿線で活動する市民の姿をご紹介しました。その後には交流会を開催。交流会の参加者からは、「いろいろなタイプのボランティア活動を拝聴できてよかった」「今まで知らなかった世界が広がって感動した」などの声をいただきました。フェアトレードクッキーと授産施設のラスクの試食もしながら、社員、参加団体、事務局が入り混じって、興味深い話に花が咲きました。このような等身大の関わりが、基金の新たな一歩になればと願っています。

- 参加団体
特定非営利活動法人 プール・ボランティア
特定非営利活動法人 チャイルズ
チーム御前浜・香榎園浜 里浜づくり
特定非営利活動法人 フードバンク関西



【お問合せは事務局へ】 メール shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL 06-6373-5086 FAX 06-6373-5174
ホームページ http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/

編集後記

- 相良 有希子 今年の夏は猛暑でしたね。地球温暖化が進むと、暑くなるだけでなく、異常気象が多発し極端化すると。一人ひとりの行動が世の中を変える一滴になると信じています。
- 新美 佳代 是澤さんのご自身の息子さんへの一言。「自分の気持ちを伝えることをあきらめないで」。発達障がいの方の意欲を奪わない社会の一員でありたいと思いました。
- 相良 素子 桂米團治さんのインタビュー、いかがでしたでしょうか。読み物として良いものにしたとは思いますが、やっぱり落語家の方のお話は生で聞くのが一番ですね!
- 浦井 沙央里 地産地消フェアや古本チャリティなど、この秋は気軽に多くの方に参加していただける企画が満載です! 自分にも社会にも、実りのある秋にしましょう!

ゆめ・まち・みらい ライブラリ

グループ従業員の本棚をのぞいてみました。社員とその家族を幸せにするために力を注ぐ会社のお話です。



今回のおすすめ人
阪神電気鉄道 経営企画室 小野政昭さん



社員の約7割が障がい者という会社も登場する感動のストーリー

日本でいちばん大切にしたい会社 坂本光司(著) 出版:あさ出版 2008年4月発行 1470円(税込)
まず、会社は「五人」に対する使命と責任を果たすべきと定義されています。五人とは、社員とその家族、外注先・下請け企業の社員とその家族、顧客、地域社会、株主。続いて、5社の事例が紹介されています。なかでも約50年前に、知的障がいを持つ少女2名を社員達のたつての願いで採用し、ついには社員の7割が障がい者になった「日本理化学工業」の話は印象的です。人を動かす原動力は、人を大切にしたいという愚直な熱い思いであることに改めて気づかれます。続編もあり、ビジネス書の堅苦しさはなく気軽に読めるので、ぜひ一読下さい!